

地域銀行の令和 7 年 3 月期決算の概要

1. 損益の状況（銀行単体ベース）

○ 令和 7 年 3 月期の当期純利益は、経費が増加したものの、資金利益の増加等により、前年同期に比べ、37%の増益。

（単位：億円）

	R5 年 3 月期	R6 年 3 月期	R7 年 3 月期	前年同期比
業務粗利益	38,330	40,253	44,126	3,873
資金利益	37,851	38,835	42,367	3,532
役務取引等利益	6,387	6,726	6,916	190
その他業務利益	▲ 5,955	▲ 5,346	▲ 5,203	143
うち、債券等関係損益	▲ 6,476	▲ 4,767	▲ 4,750	17
経費	▲ 27,988	▲ 28,610	▲ 29,292	▲ 683
実質業務純益	10,342	11,643	14,833	3,191
コア業務純益	16,818	16,409	19,582	3,173
コア業務純益 （除く投資信託解約損益）	15,893	15,983	19,101	3,117
与信関係費用（※）	▲ 1,790	▲ 2,299	▲ 1,895	403
株式等関係損益	3,222	4,276	4,397	121
当期純利益	8,776	9,582	13,088	3,506

※ 与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

	R5 年 3 月期	R6 年 3 月期	R7 年 3 月期
貸出金（末残）	312.5 兆円	322.9 兆円	333.2 兆円

2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

○ 令和 6 年 3 月期に比べ、不良債権残高・不良債権比率ともに低下。

	R5 年 3 月期	R6 年 3 月期	R7 年 3 月期
不良債権残高	5.6 兆円	5.7 兆円	5.5 兆円
不良債権比率	1.76%	1.73%	1.64%

3. 自己資本比率の状況（銀行単体ベース）

○ 令和 6 年 3 月期に比べ、国際統一基準行の総自己資本比率は低下した一方、国内基準行の自己資本比率は上昇。

（国際統一基準行：10行）

	R6 年 3 月期	R7 年 3 月期
総自己資本比率	15.39%	13.45%
Tier1 比率	15.06%	13.20%
普通株式等 Tier1 比率	15.04%	13.16%

（国内基準行：88行）

	R6 年 3 月期	R7 年 3 月期
自己資本比率	10.07%	10.23%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）R5年3月期～R6年3月期の集計対象は100行（地方銀行62行、第二地方銀行37行及び埼玉りそな銀行）

R7年3月期の集計対象は98行（地方銀行61行、第二地方銀行36行及び埼玉りそな銀行）

（注3）与信関係費用・不良債権の計数には、再生専門子会社分を含む。